



同窓会会報

発行：獨協埼玉高等学校同窓会 発行人：玉山 栄一
〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316
☎048-977-5441 FAX048-977-2031
URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

祝・世界遺産登録決定



校長
柳町 道廣

去る6月25日、第19回同窓会総会・懇親会が例年通り開催されました。今年も、お忙しい中、~~〇~~が駆けつけて下さり、同窓生もいつものメンバーに加えて、教育実習を終えたばかりの新鮮な顔ぶれの参加を得て、大いに盛り上がった懇親会となりました。

今年も、長い間本校の教育を支えて下さった三人の先生方がご退職になりました。定年を迎えられた国語の~~〇~~先生と、早期退職された英語の~~〇~~先生、理科の~~〇~~先生です。今後ともお元気で活躍されることを皆でお祈りしたいと思います。ありがとうございました。

さて、今回はこの度決定した、上野の国立西洋美術館の世界遺産登録について述べます。ル・コルビュジエ建築作品の一括登録の関連で、日本ではただ一つ

「こういうことが出来るのは、さんざんしかないよね」「人生って人に必要とされるかどうかだと思ふんです。

決してナンバーワンになれなくてもいい、最終的に一番大事なものは相手に。私はあなたがいいんです」と言われるかどうか。それは自分の個性を生かした自分が必要とされる土俵を作れるかどうかが問題です。もちろん元々の才能や資格も必要ですが、あって本流からそれた道を行ったり、順調じゃない道をたどる事によつて、いろいろと知らなかった場面に遭遇し、人の気持ちをくんだ土俵が生まれるのだと思います。

獨協埼玉には他にならぬ独特のカラー、そして自由さがありますよね。そう、もう卒業した時点ですでに自分ならではの土俵ができあがっているんです。それが証しに必要とされている様々な分野で卒業生が活躍されていると聞いております。皆さんも誰も入り込めない土俵を作れるはずですよ。

さて、来年同窓会発足20年目になります。ほんとにここまで来れましたのも、会員の皆様のご協力・ご理解のおかげと深く感謝しております。つきましては、創立20周年記念式典を行いたいと思っておりますので、その際には是非足をお運びいただければ幸いです。

今年度から蛙鳴祭のパンフレットに同窓会のページができました。母校が懐かしくなつて訪れた同窓生にも、在校生にも、同窓会活動をお知らせできればと思い、作りました。是非、蛙鳴祭に訪れた時にはご覧下さい。

これからも同窓会をよろしく願っています。

自分の土俵



同窓会会長
玉山 栄一

会報発送停止について

平成10年10月に発足した獨協埼玉高等学校同窓会の会員は、34期12,143名となり、会報の発行や総会・懇親会の開催、ホームカミングデー・まほろばの会、在校生の支援など、さまざまな活動に取り組んでまいりました。

同窓会の事業運営費として、1期・17期の同窓生については、振込用紙を同封し、みなさまに会費納入をお願いしてまいりました。しかし、同窓生は毎年増加する一方、会費納入が伸び悩んでおり、会報の発送が事業運営費を圧迫する状況となっております。

そこで、卒業生の皆様に会費納入を改めてお願いするとともに、会費未納の(会員の)方々については会報の発送を段階的に停止させていただきますことと致しました。同窓生の皆様には趣旨をご理解いただくとともに、未納の会員におかれましては、会費の納入にご協力いただきますよう、重ねてお願いする次第です。

今後とも、獨協埼玉高等学校ならびに同窓会の発展にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

獨協埼玉高等学校同窓会
玉山 栄一

※ホームカミングデーを区切りとして、会費未納の方への会報発送を停止させていただきます。

獨協クラスの今

「現在の獨協埼玉高校のカリキュラムは、二年次に文系理系に分かれ3年次にはさらに細分化された5つのコース制を設定しています。獨協大学への進学を前提に高大連携のカリキュラムのもとに教養教育を行う」獨協クラス設立から10年目となり、設立当初より様々な変更がなされました。そこで今回は、獨協クラスの現在の状況について紹介したいと思います。

■卒業論文を通じて

高校2年次に「獨協クラス」を選択したところから卒業論文の指導はスタートします。卒業論文は、自らテーマを設定し、文献やフィールドワークを通じて問題意識を深め、大学の先生からアドバイスをいただきながら、16,000字以上の卒業論文にまとめ上げていきます。

論文作成にあたっては、生徒それぞれが自身の問題意識を深め、表層的な理解で満足することのないように、対話をします。生徒との対話の場は、教師による説得の場ではなく、生徒に眠っている「何か」を引き出す場として最大限に活用しようと思っています。

最大の眼目は、生徒自身が選んだテーマに誠実に向き合っているかの一点です。そこが疑わしい場合は、厳しく対応します。

●卒論執筆を通して身につく力

- ①問題意識をもち世の中に向かう力。
- ②自らの問題意識を世の中に通用する「問い」に高める力。
- ③その問い真剣に考察し、解き明かすための証拠を集める力。
- ④価値のある答えを編み出す力。
- ⑤他者が理解できるように文章で表現する論理力。
- ⑥自分の盲点を自覚しつつ、多角的に考察する力。

■ギリシャ劇に関して

蛙鳴祭で発表される獨協クラスの劇も様々な試行錯誤が行われ、発展してきました。以下で、劇の過去現在未来に関して説明します。

●当初の目的：2400年間の時間を生き抜いてきた台本に触れる

演劇上演取り組みの始まり時点(初年にあった2008年度)では、2つの目標が自覚されていた。第1に、獨協コースの名誉の確立が必要と考えられた。というのも、大学進学にあたっての成績基準が大幅緩和され、安易な考えでこのコースを選択する生徒たちの登場がさけられないことから、芳しくない評判が立ちうるという危機があった。見るものを圧倒する何かしらの成果物によって、このクラスの存在意義を校内に浸透させる必要があった。

第2に、今を生きる高校生が「古代劇」を上演する経験自体が実に有意義と思えた。台本を通して異質な他者と向き合うことで、自ずと歴史との対話が実現することになる。人間存在の変わらぬ営みを直視する経験にもなる。

●次第に見えてきた第3の目的：問いと答え、そして新たな問いの発生

ギリシア悲劇に継続的に取り組む中で、第3の目的が見えてきた。論文と悲劇作品の構成がずつと対応する関係にあり、演劇上演の経験が論文作成に直接貢献しうることが見えてきた。悲劇は論文と同様に問題提起(「問」)から始まり、劇の性格上、この上ない悲劇の結果(「答」)に至る。その結末は、新たな問題(「新たな問い」)を生むことになる。悲劇の展開過程(「本論」)は問題提起(「問」)に対する様々な立場からの検討が加えられる機会となるため、劇を起伏に富んだ見ごたえのある内容構成とする。

●劇のこれから：劇もまた、演じ手のために存在するのではない

あらゆる場面で自分自身に対し甘く振る舞ってしまいがちな人間だと思われる。スポットのあたる舞台の上では尚更、人間的弱さが隠しおこせない。

演じ手たちの自己満足気味の舞台や、言葉の力や生身の身体力が無駄に浪費されている舞台といった残念な成果にならないように、演じ手は、稽古によって言葉を磨き、発声を鍛え、心身を逞しくし、テーマと観客に向き合う必要がでてくる。

舞台上の役者たちと、テーマを持って世の中に向き合う論文の書き手は、その点で、同質と言える心身の構えを備えていくのではないだろうか。こうした心身の形成が演劇上演の第4の目標であり、獨協コースの最終目標である論文作成への最大の貢献と私が考えているものである。

獨協クラスを卒業して...

私が獨協クラスで得たものは大きく分けて2つあります。

一つ目は、大学のレポート等を円滑に進められる力です。論文や読書ノートでは、読破した資料や現地調査で得た情報の中から必要な情報を抜き出して使用しました。そして、それらをどのような順序で使えば自分の主張をはっきりさせることができるのか考えながら述べていきました。これらができれば大学のレポートは円滑に進めることができます。獨協クラスに在籍していた頃から、大学生になる準備を無意識にしていたのではないのでしょうか。

二つ目は、忍耐力が得られました。朝から晩まで毎日論文と向き合う日々の中で、どんなに辛く

ても諦めず最後までやり遂げるということの大切さを学びました。努力を重ね、論文が完成した瞬間の喜びは言葉に変えがたいものでした。その喜びは、努力をした人しか味わえない喜びだと思えます。

私は獨協クラスでの経験は必ず将来に役立つと感じています。獨協クラスを卒業した生徒は、他の生徒よりも論理的に考えることや自分の考えを文章にまとめることに優れています。現在私は大学に入学して3ヶ月ほどですが、獨協クラスで訓練された力が日々役立っていると既に感じています。

獨協クラスとは

●さん(外国語学部ドイツ語学科4年)

大学生として学ぶのに必要なものは、知識や学力だけではありません。何よりも、「自ら学ぶ」という姿勢が重要になります。

この自主性を育てていくという点において、獨協クラスは「大学の先取り」ができる場所であると思います。例えば獨協クラスには、地歴演習や国語研究など、ディベートを中心に行われる授業があります。そこで生徒がすることは、自分の考えを自分の言葉でまとめ、表現していくという作業であり、その経験の積み重ねは大学に入ってから役に立ちます。

また、そういった活動の集大成に位置づけられるのが、生徒が二年間かけて取り組む卒業論文です。あらゆる文献を読み、それを客観的に、かつ自分の言葉でまとめるという作業は、受験勉強をする必要がない獨協コースだからこそできることなのではないのでしょうか。

自ら考え、自ら学ぶ。獨協クラスは、大学、そして将来のために必要な「知的好奇心」を育む場所であると思います。

新しい風

新任教員紹介

考える力をつけること



4月から本校で理科(物理)を担当し、中学2年の副担任をしております。と申します。担当の部活動は中学男子バスケットボール部です。前年度までは大学院で研究をしてきました。今までいた科学の世界では「なぜ?」という疑問について考えていく毎日でした。そんなこともあり、私は子どもたちが疑問を抱き、考え、解き明かす楽しさを学ぶ授業を心がけています。培った考える力は科学のみに留まらず、様々な場面で求められます。失敗したとき、「なぜ?」そんなったのか、次に失敗しないように何ができるか考えるとき。

新しい力として



こんにちは。今年度より本校で勤めることになりました。と申します。担当教科は英語で、高一担任、中学女子バスケットボール部の顧問をしています。

初めて教員となった私にとって、生徒と共に過ごす日々は驚きと発見に包まれ、彼らの成長を間近で感じられることを嬉しく思います。6月に行われた体育祭では、私のクラスの総合得点は学年7位と、非常に悔しい結果に終わってしまいました。多くの生徒が「この行事を通して、以前よりクラスの団結力が高まった」と感じたようで、これからの学校生活に弾みをつけることができました。このように、一人でも多くの生徒が楽しく充実した学校生活を送れるよう、精一杯サポートしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

決意新たに



こんにちは。と申しします。

4月から本校で中学一年生の担任をしています。教科は国語科で、部活動は陸上部の担当です。これまでは公立の定時制高等学校に勤めておりましたが、この度縁あり本校で勤務することとなりました。よろしくお願いたします。

獨協埼玉中学高等学校での日々も、はや4か月が経とうとしています。明るく前向きな生徒が多いというのが一番の印象です。やるべきことに真剣に向き合い、試行錯誤を重ねながら前に進もうとしている姿は、さながら青春小説の一場面を見ているようです。そんな生徒たちの背中をそっと押せるよう、日々努力します。



第37回 蛙鳴祭

今年度は日曜・祝日の開催となります。ご注意ください。

9月18日 日・19日 月・祝 10:00~15:00

蛙鳴祭ステージ タイムテーブル

9月18日 日		9月19日 月・祝	
10:00~10:55(55分)	獨協クラス	10:00~11:10(70分)	高校演劇部
10:55~11:40(45分)	コーラス部	11:10~11:35(25分)	ソングリーディング部
11:40~12:05	ソングリーディング部	11:35~12:20(45分)	コーラス部
12:05~13:15(70分)	高校演劇部	レビンステージ(5分)	
13:15~14:45(90分)	吹奏楽部	12:25~13:20(55分)	獨協クラス
		13:20~14:50(90分)	吹奏楽部

同窓生の皆様、蛙鳴祭が今年も始まります。今年のテーマはWonderfrog!です。

皆様が「どったま生」だったころを思い出しながら、現役中高生のWonderfulな企画をぜひお楽しみください。お待ちしております。

入試ミニ説明会
(小ホールにて)

中学 9月18日 日
11:00~12:00

高校 9月19日 月・祝
11:00~12:00 / 13:00~14:00

退職にあたって

平成27年度をもって、先生、先生、先生が退職されました。長い間、獨協埼玉を支えて下さってありがとうございました。



三月に定年退職しましたが、六月まで、過去の成績データを新しい成績処理システムに移行するため、嘱託事務として週三日、出校してました。そのため、まだすっきり退職したという気分には、なれないです。

三十五年間、勤務して、その間さまざまなことがありました。男子校を共学にしたり、中学をつくったり、いつも課題がありました。それをなんとか解決しようとしたばたきたように思います。その中で、学校の成長に関わってきたという実感もあります。そのように感じられることは、大変ありがたいことだと思っています。

退職してうれしかったこと

とは、授業をしなくてもよいということです。授業が、そんなに嫌いだったのかという、そういう訳ではありません。自分の知識不足からいい加減なことを教えてしまったのではないかと、これでいいんだろうか、といったプレッシャーとかうしろめたさから解放された、と思ってきました。「やり残したことがある」という類いの悔いはあまり残っていませんが、いまでも、「兼好は吉田氏ではない」という論を読んだりすると、知らなかったなあ、と、少し後ろめたい気がします。

退職後どうするのか、とよく聞かれます。三十五年間、その日にやらなければならぬことは、決まっていた。その暮らしがどう変わるのか、もう一度自分で生活を作り直すということはどういうことなのか、よく分かっています。幸いなことに私は楽しめることを、いくつか持っていますし、買ったまま読んでいない本もたくさんあります。というわけで、これからどうするか、メダカに餌をやりながらゆっくり考えることにします。

長い間、ありがとございました。

ご無沙汰しております

(元理科教諭 2008年退職)

昭和55年(1980年)4月の開講を目指して、前年から獨協埼玉高校は突貫工事で建設されていた。そのころ駅から学校までの道路の両側はほぼ一面の田圃で、雨の日はアメリカザリガニがぞろぞろと歩いていた。多くのいたずら坊主の相手をしながら26年が経ち、平成18年(2006年)、学年主任として中学1期生を高校卒業生として送り出した。その卒業生たちに、卒業式前に「10年後の自分に手紙を送る」という試みを実施し、今年無事手紙が届いたそうである。高校を卒業して早10年目、社会人としておおいに活躍していることだろう。そして私は2008年、開校長、教諭とともに退職することとなった。

現在、私はさいたま市の見沼田んぼでNPO法人を立ち上げ環境保全活動に取り組んでいる。見沼田んぼは東京都心から20km圏内にあり、東京ドーム256個分の巨大な緑地空間である。近年、農業従事者の高齢化などにより耕作放棄地が増加している。そこには、多数の外来種(セイタカアワダチソウ、センダングサ、ネズミギなど)が入り込んでいる。田んぼの畦にあったノア

退職された先生は今

ザミ、ノハナシヨブなど日本の原風景を彩ってきた植物は消えてしまっている。30年前まで、里山として使われていたススキヶ原(萱野)には、竹が入り込み手がつけられない藪になっている。本来国内に棲息していた在来種が淘汰され、消滅してしまっている。そこはキンランやイカリソウなどの貴重な植物の生息地だったのである。

耕作放棄地や管理されていない竹林に、人の手が入ることによって里山は復活する。単なる緑色一色が自然ではない。単一の植物が一面を埋めているのが良い自然ではない。様々な、微妙に色の違う緑色が組み合わさり、様々な昆虫類、両生類などの動物がいて生物多様性が実現されているのが本来の自然である。身近な自然は手入れが必要である。

一昔前、獨協埼玉高校で環境学習を担当していた者として、見沼田んぼの小さな空間を、今、保全保護活動により懐かしい未来を取り戻している次第である。是非、若い、中高校生諸君も参加してほしい。

ホームページ

<http://members3.jcom.home.ne.jp/kaerunomaru/>

Kaerunmaru で検索



作業風景



耕作放棄地を借り子ども達と里山体験しています



貴重種を保護しています

第19回 同窓会総会・懇親会開催

決算・予算報告

平成27年度 同窓会決算書

H27年4月1日～H28年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	29,383,864	次年度繰越金	30,601,339
終身会費卒業生	3,270,000	総会・懇親会費用	675,868
終身会費既卒生	90,000	会報費	1,124,296
利息	2,663	幹事会費	10,000
総会・懇親会会費	76,000	慶弔費(花束)	23,220
祝い金	30,000	慶弔費	0
雑収入	0	HP関連	24,864
		卒業証書フォルダー	392,940
合計	32,852,527	合計	32,852,527

平成28年度 同窓会予算(案)

収入の部		支出の部	
35期生 終身会費	3,560,000	総会・懇親会費用	800,000
H27年度より繰越金	30,601,339	会報費	1,400,000
		幹事会費	30,000
		慶弔費(花束)	30,000
		卒業アルバム保管用	10,000
		企画費	500,000
		卒業証書フォルダー	500,000
		HP関連	25,000
		蛙鳴祭パンフレット紙面代	100,000
		ネームプレート	10,000
		予備費	30,756,339
合計	34,161,339	合計	34,161,339

今年も暑い中、6月25日(土)に第19回同窓会・懇親会が開催されました。総会では事業報告・会計報告に加え、同窓会役員一部変更・平成28年度事業計画並びに予算案などが承認されました。また、玉山会長より同窓会20周年に向けた企画等についての話がありました。

その後、懇親会では、加倉井先生、長沼先生にもご参加いただき、在学されていた当時のお話を聞かせていただきました。今回も卒業して間もない同窓会生に多く参加していただき、年齢関係なく話し合う、活気に満ちた懇親会となりました。来年はいよいよ20周年となります。20周年に向けて、さまざまな企画等を考え



中です。自習室の増設やテニスコートや格技場の改修など、変更点もあります。学校見学と兼ねて、ぜひ総会と懇親会に足をお運びください。

「部活動紹介」

なつかしきあの頃 第17回

陸上競技部



獨協埼玉中学高等学校が誇る広大な敷地の一番奥に、生き物たちの楽園である獨協湿原が広がっています。そう、そこが陸上競技場なのです。

私が陸上競技部の顧問をさせて頂いたのは十数年前のことです。「なつかしきあの頃」と振り返るには年数が浅くて申し訳ないのですが、最近の状況をお伝えできたらと思います。

私が顧問となった時、高校生の部員は30名程いたそうなんです。4月の始めに、「試合の申込があるので全員集合しよう。こで来なかったら部員登録もしないからね」と連絡したところ集まった2・3年生は9名しかいませんでした。これがスタートでした。ただ、残った部員達は本当に素直で気持ちのいい子ばかりでした。

獨協湿原も草は伸び放題、もぐらは好き放題、走路なのか、けもの道なのかわからないという状態でした。そこを造園の目下部さんの協力や部員達の力で数年かけて、なんと300mのトラックと呼べるだけのものを作りあげることができました。

そんな子供達の頑張りもあり、県大会に出場することが目標だったものが、2年目には関東

大会に出場するまでに成長していました。その後も何度か関東大会に出場させて頂き、現在は3年連続で出場しています。次は全国へと進めるよう、目標を新たに努力しています。

陸上競技は個人スポーツだと思われがちです。私もそう思っていました。しかし、これだけのつらい練習を一人ではやっていきません。一緒に頑張ってくれる仲間がいてこそ、日々の練習に耐えられるのだと思います。また、「強く美しい選手になる為に」と日々の生活から心を鍛えることも忘れないようにしています。

たった9名から始まった陸上競技部も現在は中・高合わせて50名に近い、大きな部活となっています。そして今年度、その9名の後輩として入学してきた1年生の生徒が教員となり獨協埼玉に戻ってきてくれました。立派に成長した姿は誠に頼もしいかぎりです。

これからも感謝の気持ちを忘れずに努力し、走り続けます。

卒業生の皆様におかれましても、応援のほどよろしく申し上げます。

(顧問)

まほろばの会 32期 報告

2016年2月13日、「まほろばの会」の開催にあたり、卒業から2年振りに約130名の32期生が集いました。

卒業してからも変わることない、懐かしい校舎やグラウンドに皆思わず目を細めていた姿が印象的です。校長先生をはじめ、在学中お世話になった先生方も参加してください、中学・高校時代の思い出話や現状報告など、たくさんのお話をすることが出来、時間はあっという間に過ぎてしまいました。このような機会を設けて頂いたこと、32期生一同、大変感謝しております。

32期同窓会幹事



案内 33期生「まほろばの会」開催について

2017年2月18日(土)午後、懐しの食堂に集合!

2015年3月に卒業した33期生みなさん、学年主任であった
ははじめ、担任をしてくださった先生方と、20歳をお祝いしましょう! 多くの33期生が集うことを楽しみにしています。



教育実習を終えて

教育実習を終え振り返ると、実にあっという間で、濃いつづいたことや体育祭運営の手伝い等々で、大学の授業だけでは足りなかったことが多くを実感し、学ぶことが出来た。生身の生徒を相手に授業する難しさや面白さ、朝礼や清掃の時間でコミュニケーションを取る大切さを知り、私自身の課題を痛感しました。また、先生方が受けている授業以外の多くの仕事を間近で見て、その忙しさを改めて気付きました。これらを得ることが出来たのも母校の皆さんのおかげです。一生に一度の貴重な3週間を経験させて頂き、本当にありがとうございました。当にありがとうございまして。実習中に先生方、生徒達から教えて頂いたことを胸に、教師という夢に向かって今後より精進します。

3週間の教育実習では、多くの学びと発見があり大変貴重な経験をする事が出来ました。一日一日を通して

じて、授業準備の大変さや分かりやすく説明することの難しさを実感することにも、生徒との接し方や授業の進め方など多くのことを学びました。授業の中で、先生方が話す生徒の興味をひきつける話は、豊富な知識と経験の引き出しの多さを物語っていました。私自身、授業が思うようにいかなかった時もありましたが、先生方の授業から学び、的確なアドバイスをいただき、前向きに取り組むことが出来ました。私を教育実習生として温かく受け入れていただき、先生方、生徒の皆さんに心より感謝いたします。ありがとうございました。この経験で学んだことをしっかりと今後に活かしていきたいと思っております。

2週間という短い期間ではありましたが、獨協埼玉で



の教育実習で多くのことを学ぶことが出来ました。中でも、今まで生徒として受けていた授業を、教師の目線から見ることが、1つ1つの授業が緻密に計算され、どれだけの意図が詰まっているかを実感しました。見学を踏まえ、臨んだドイツ語の授業で生徒が「ドイツ語が好きになった」と言ってくれたことが嬉しかったです。苦労した分達成感も多く、楽しく充実した2週間になりました。この経験を活かし、夢に向かって一歩ずつ前進していけたらと思います。お世話になった先生方、そして生徒の皆さんに心から感謝しています。ありがとうございました。

INFORMATION

中学入試

- ◆募集 男女 160 名
- ◆学校説明会
 - 第1回 9月25日⑩ 10:00～
 - 第2回 10月23日⑩ 10:00～
 - 第3回 11月26日⑩ 10:00～
 - 第4回 12月11日⑤ 10:00～
- ◆入試
 - 第1回 1月11日③
 - 第2回 1月12日④
 - 第3回 1月17日④

※本校と川口会場の2会場で実施(第1回)

入試

高校入試

- ◆募集 男女 160 名
- ◆学校説明会
 - 第1回 9月25日⑩ 13:30～
 - 第2回 10月23日⑩ 13:30～
 - 第3回 11月26日⑤ 13:30～
 - 第4回 12月11日⑤ 13:30～
- ◆入試
 - 第1回 1月22日⑩(単願・併願)
 - 第2回 1月23日⑩(併願)

※詳細は本校HPでご確認ください。



同窓会役員人事紹介 (括弧内数字は卒業期)

同窓会からのお願い

①同窓会運営に関するご意見がありましたら、上記の理事・事務局・幹事までご連絡ください。またできる限り、総会に出席していただき、その場で意見を寄せていただければ幸いです。よろしくお願ひします。

②住所などで変更がございましたら、獨協埼玉高等学校同窓会までお知らせください。

③同窓会は、同窓会活動を遂行する上で取得させていただいた皆様の個人情報に適切に保護し、会報、同窓会が主催協力する行事等の開催案内の送付、学校で保有する卒業生データベースの補完のための情報提供に、これらの情報を利用します。

※なお情報提供に同意されない方は、事務局まで届け出てください。

※最近、同窓会を名乗り、電話で個人情報を出そうとしている団体があるようです。本同窓会では、電話での問い合わせは一切しておりませんので、ご注意ください。

会費納入のお願い

平成11年度の卒業生より、同窓会会則に従い卒業年度に、終身会費を納めていただくことになりました。つきましては、既に卒業された同窓生にも終身会費(1万円)を納入していただきたく、納入票を同封させていただきました。同窓会の運営資金となります。趣旨をご理解の上、ご協力よろしくお願ひいたします。

※既にお振込みいただいた方には振込用紙は封入されておりません。

獨協埼玉高校
同窓会連絡先

〒343-0037 埼玉県越谷市大字恩間新田字寺前316 TEL048-977-5441 FAX048-977-2031
事務局(koda@dokkyo-saitama.ed.jp) URL <http://www.dokkyo-saitama.com/>

12期生ホームカミングデー報告

「40歳になったら学校へ行こう!」を合い言葉に、昨年10月10日に行われた12期生のホームカミングデーには、100名ほどの卒業生が母校の学舎に集まりました。遠くは福岡、大阪や愛知からも来てくれました。

「会うのは卒業以来!」という同級生もたくさんいましたが、22年前の記憶が昨日のこのようによみがえりました。既にご退職になった方も含めてお世話になった担任の先生方にもご出席いただき、お話をいただきました。

会場では在学当時の話に花が咲き、あつという間の2時間でした。その後も2次会・3次会とせんげん台駅近くの居酒屋で旧交を温め、改めてよき同窓生に恵まれたことを感謝した次第です。

残念ながら今回のホームカミングデーには不参加となった同窓生も、同窓会総会をはじめとした同窓会のイベントには、ぜひ、ご参加下さい。

今秋は13期生のホームカミングデーとなりますが、同窓会のよき伝統を今後ともぜひ受け継いでください。

どったま、サイコー!!

(12期生)



会計報告

(収入)
¥3,000 × 88人
= ¥264,000
計 ¥264,000

(支出)
幹事代行費用
232,846円
(案内状郵送費、飲食代、
お花代、雑費、運営一式含む)

(残金)
¥31,154
※尚、残金は、まほろば
の会に寄付させていただ
きます。

S51、S52年
生まれ

祝! 2nd成人式!

13期生ホームカミングデー開催!!

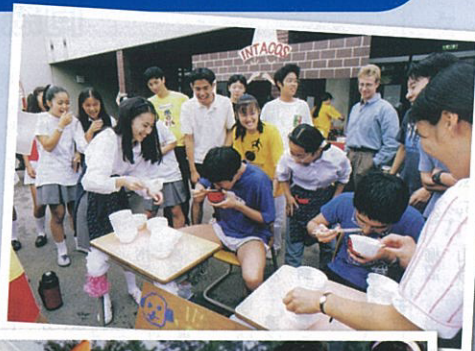
今年40歳を迎える13期生の皆さん(S51、S52年生まれ)、お待たせしました!! 同窓会「ホームカミングデー」の開催です。20歳が大人の仲間入りの歳ならば、40歳は本当の大人として輝く歳です!

そんな記念すべき年に母校で、懐かしい仲間やお世話になった先生方と思いに残る1日を過ごしましょう!!

一人でも多くの参加をお待ちしております!!

日時 平成 28年 10月8日(土)

- 一次会/受付13:30 開会14:00
獨協埼玉中学高等学校 小ホール
- 二次会/18:00頃～
せんげん台駅周辺を予定



実行委員

詳細はこちら!! ▶ Facebookページ 「13期獨玉」

